

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	1	〇	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる面で、差別が発生しないよう経営トップが関与（定期的な社員面談等の実施による意見聴取、就業規則等への反映）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	2	〇	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・経営トップが定期的に社員面談等を実施し、職場環境や人間関係等について問題がないかをヒアリングし、問題ある場合は速やかに対応している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
	3	〇	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・月2回、各人の残業時間を社長が把握し、長時間労働を抑制している								8.5 8.8										
	4	〇	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在、外国人労働者の雇用はない。 ・将来、外国人労働者の雇用が発生した場合は、差別・人権侵害が発生しないよう経営トップが積極的に関与する				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
	5	〇	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社長の現場巡回により、「安全・衛生」に関するテーマを取り上げて指示をし改善活動をしている			3					8										
	6	〇	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・職場内の人間関係が円滑になるように定期的にミーティングを実施している。 ・特定の社員に業務が集中しないよう多能工化を推進			3															
	7	〇	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・雇用については本人の健康状態と希望により雇用延長している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	8	〇	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・商工会議所及び業界団体等による研修受講を奨励している ・業務上必要な資格の取得奨励および費用一部負担				4	5.5			8	9									
	9	〇	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・適正な人事評価制度の構築・運営による公正な待遇の実現					5.5			8.5		10.2 10.3								
	10	〇	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・健康診断の受診を奨励し、受診した場合の基本料金を一部会社負担している			3					8										
環境	11	〇	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・職場内および訪問サービス先におけるゴミの分別基準を明確化し（資源ゴミ、可燃ゴミ、プラゴミ、金属など）分別、削減活動を実施している。										11.6	12.4		14.1					
	12	〇	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・毎月の電気、ガス、水道等の使用量の把握と削減活動を実施している							7.3					13						
	13	〇	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】算定ツールなどを利用することにより現状を把握し、削減の計画を策定							7.2 7.3				12.4	13.3						
	14	〇	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・現在有害化学物質を使用していない。 【予定】法令等で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定			3.9			6.3				11.6	12.4							
	15	〇	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・土壌汚染や水質汚濁の防止対策をしており生物多様性に配慮している。						6.6									15			
	16	〇	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・経営トップが、3Rを積極的に社員に指示・指導をしている											12.5		14.1					

17

□

【水の管理】

・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる

チャレンジ

・節水を社員に奨励しています

6.4
6.6

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	〇	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	〇	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6					
20	〇	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】2025年を目途に再生エネルギーの活用検討を実施する								7.2						13				
21	〇	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・自社製品については天然資源を積極的に活用していく													12.2	13	14	15		
22	〇	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動規範を定めており、不正取引を行った社員については、会社として厳正な対応をすることを朝礼等で繰り返し発信し啓蒙する																		16 16.5
23	〇	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動規範を定めており、不正競争行為等の防止の為に社内研修の実施している																		16
24	〇	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、実用新案、意匠、商標等の知的財産権を積極的に取得を目指す									8.2 8.3	9								
25	〇	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報保護方針」を定めてホームページ等で公表している																		16
26	〇	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・お客様から要求があった場合は、材料メーカー等に対して調査を要請し報告する																		16
27	〇	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・企業行動規範を定めており、反社会勢力との取引を防止している					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	〇	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・客先毎の仕様に応じて、弊社内蓄積したノウハウを提供し提案する仕組みを有している。				3.9										12.4				
29	〇	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・日次において「顧客からの意見・苦情等（顧客満足度）」を共有する場を設けている。そして、顧客の声を、全社で共有する記録を作成して管理している											9							
30	〇	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・地域環境に配慮した製品を開発・普及を積極的に推進している。							6						12	13	14	15		
31	〇	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・新型コロナウイルス感染症対策の製品を開発し積極的に普及をしていく	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）